



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590017007	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (La～f・F27～28)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	F27・28		
担当教員Eメールアドレス	yamatsesu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツ語の基本文法を習得し、ドイツ語を通してドイツに興味を持つ。		
授業方法(学習指導法)	ドイツ語の学習で不可欠な動詞の人称変化を学生全員が慣れるまで「私は長崎へ行きます」や「私は長崎に住んでいます」などのドイツ語文を使い、主語を一人称、二人称、三人称そしてその単数と複数に換えて練習します。習熟度を見るために、二人一組で「あなたはどこへ行きますか」「私は長崎へ行きます」などの会話ゲームをします。これによって全員が難なく自然に発話できるようになります。 次に名詞の性と定冠詞・不定冠詞などの1格から4格の格変化に慣れるために、男性名詞の「父は息子に叔父の万年筆をプレゼントします」、女性名詞の「母は娘に叔母のハンドバックをプレゼントします」、中性名詞の「少女は子供に童話のおもちゃをプレゼントします」の各文を発音します。習熟度を見るために「誰が息子に叔父の万年筆をプレゼントしますか」の質問に「父が息子に叔父の万年筆をプレゼントします」あるいは「父がそれを彼にプレゼントします」で答えるゲームをします。		
授業到達目標	学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。		
授業内容	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。		
	回	内容	
	1	ビデオでドイツを紹介、ドイツ語で自己紹介	
	2	動詞の現在人称変化(1)	
	3	動詞の現在人称変化(2)	
	4	冠詞と名詞(1)	
	5	冠詞と名詞(2)	
	6	第2回から5回までの復習	
	7	現在人称変化(3)	
	8	人称代名詞・冠詞類	
	9	定形の位置	
	10	第7回から9回までの復習	
	11	前置詞	
	12	話法の助動詞	

	13	動詞の3基本形(1)
	14	動詞の3基本形(2)
	15	第11回から13回までの復習
	16	第16回 定期試験
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく	
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者：本郷建治 他、(株)三修社	
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水1																														
開講期間																																	
必修選択	必	単位数	1.0																														
時間割コード	20110590017009	科目番号	05900170																														
授業科目名	●ドイツ語 I (E5～10)																																
編集担当教員	仲井 幹也																																
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也																																
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也																																
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																																
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																														
教室	[全]204																																
対象学生(クラス等)	E5～10																																
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp																																
担当教員研究室	経済学部本館524研究室																																
担当教員TEL	095-820-6399																																
担当教員オフィスアワー	授業の前後																																
授業のねらい	授業のねらい:ドイツ語の初級文法を現在時制(+未来形)の範囲内で学び、応用できるようにする。簡単な挨拶、数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な会話もできるようにする。																																
授業方法(学習指導法)	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。																																
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。																																
授業内容	<p>教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をやる。第2回目までは特に予習の必要はないが、未知の単語の意味をしらべておくこと。第3回以降から練習問題などの予習も必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけることではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>辞書の説明、発音</td></tr> <tr><td>2</td><td>発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞</td></tr> <tr><td>3</td><td>定冠詞、不定冠詞、格の用法</td></tr> <tr><td>4</td><td>不規則動詞、命令形</td></tr> <tr><td>5</td><td>定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞</td></tr> <tr><td>6</td><td>名詞の複数形</td></tr> <tr><td>7</td><td>nichtとkein、目的語の語順</td></tr> <tr><td>8</td><td>前置詞</td></tr> <tr><td>9</td><td>形容詞と形容詞の名詞化</td></tr> <tr><td>10</td><td>話法の助動詞、未来形</td></tr> <tr><td>11</td><td>序数と日付の表現</td></tr> <tr><td>12</td><td>分離動詞、非分離動詞</td></tr> <tr><td>13</td><td>従属接続詞と並列接続詞</td></tr> <tr><td>14</td><td>間接疑問文</td></tr> </tbody> </table>			回	内容	1	辞書の説明、発音	2	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞	3	定冠詞、不定冠詞、格の用法	4	不規則動詞、命令形	5	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞	6	名詞の複数形	7	nichtとkein、目的語の語順	8	前置詞	9	形容詞と形容詞の名詞化	10	話法の助動詞、未来形	11	序数と日付の表現	12	分離動詞、非分離動詞	13	従属接続詞と並列接続詞	14	間接疑問文
回	内容																																
1	辞書の説明、発音																																
2	発音、基数と西暦の読み方、現在人称変化、疑問詞																																
3	定冠詞、不定冠詞、格の用法																																
4	不規則動詞、命令形																																
5	定冠詞類、不定冠詞類、人称代名詞																																
6	名詞の複数形																																
7	nichtとkein、目的語の語順																																
8	前置詞																																
9	形容詞と形容詞の名詞化																																
10	話法の助動詞、未来形																																
11	序数と日付の表現																																
12	分離動詞、非分離動詞																																
13	従属接続詞と並列接続詞																																
14	間接疑問文																																

	15	ランデスクンデ
	16	まとめと定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社 (なお初回時に辞書の説明をするので、それまで辞書は買わないでください。例年こちらが勧める以外の辞書を買って、後で困る人が出ています。参考書も特に買う必要はありません。)	
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2＝成績)従って授業をおろそかにする人は、試験が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590017008	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (P18～19)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14:30-16:00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法(学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定5級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	アルファベット 発音の規則	
	2	動詞の現在人称変化	
	3	定動詞の位置	
	4	名詞の性	
	5	格変化(一格、四格)	
	6	重要動詞	
	7	不規則動詞	
	8	複数形	
	9	三格	
	10	前置詞	
	11	複文	
	12	人称代名詞	
	13	二格	
	14	再帰動詞 再帰代名詞、	
	15	まとめ	
16	試験		
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		

教科書・教材・参考書	清野 智昭『ドイツ語の時間<話すための文法>改訂版』郁文堂 (2010) 独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) ○定期試験(40%)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎
学習・教育目標	独検5級合格
備考(URL)	http://havanagi-semi.web.infoseek.co.jp/
備考(準備学習等)	予習、復習は必須



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。

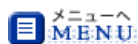


学期	前期	曜日・校時	木3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590017001	科目番号	05900170																				
授業科目名	●ドイツ語 I (K25～26)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]104																						
対象学生(クラス等)	K25・26																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																						
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																						
授業内容	<p>テキストは14課から成っている。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第7課まで進む。まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが続く。分離動詞や再帰動詞の用法まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第三課の続き、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第四課の続き、練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	第2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。	3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。	4	第4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。	5	第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。	6	第6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。	7	第7回 第三課の続き、練習問題。	8	第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。	9	第9回 第四課の続き、練習問題。
回	内容																						
1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																						
2	第2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。																						
3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。																						
4	第4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。																						
5	第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。																						
6	第6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。																						
7	第7回 第三課の続き、練習問題。																						
8	第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。																						
9	第9回 第四課の続き、練習問題。																						

	10	第10回 第五課、人称代名詞、前置詞の用法、練習問題。
	11	第11回 第五課の続き、練習問題。
	12	第12回 第六課、話法の助動詞、未来の助動詞。
	13	第13回 第六課の続き、従属接続詞、練習問題。
	14	第14回 第七課、分離動詞、再帰動詞。
	15	7第15回 第七課の続き、非人称動詞、練習問題。
	16	第16回 前期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「怖くはないぞドイツ文法」春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590017002	科目番号	05900170																				
授業科目名	●ドイツ語 I (D16～17)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]104																						
対象学生(クラス等)	D16・17																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスアワー	質問等はメールにて随時受け付ける																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																						
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																						
授業内容	<p>テキストは14課から成っている。2回の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第7課まで進む。まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが続く。分離動詞や再帰動詞の用法まで進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第三課の続き、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第四課の続き、練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	第2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。	3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。	4	第4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。	5	第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。	6	第6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。	7	第7回 第三課の続き、練習問題。	8	第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。	9	第9回 第四課の続き、練習問題。
回	内容																						
1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																						
2	第2回 第一課、動詞の現在人称変化、sein とhaben。																						
3	第3回 第一課の続き、動詞の現在人称変化、練習問題。																						
4	第4回 第二課、名詞の性・数・格、定冠詞と不定冠詞。																						
5	第5回 第二課の続き、名詞の複数形、練習問題。																						
6	第6回 第三課、動詞の現在人称変化の特殊形、命令文。																						
7	第7回 第三課の続き、練習問題。																						
8	第8回 第四課、定冠詞類、不定冠詞類、指示代名詞など。																						
9	第9回 第四課の続き、練習問題。																						

	10	第10回 第五課、人称代名詞、前置詞の用法、練習問題。
	11	第11回 第五課の続き、練習問題。
	12	第12回 第六課、話法の助動詞、未来の助動詞。
	13	第13回 第六課の続き、従属接続詞、練習問題。
	14	第14回 第七課、分離動詞、再帰動詞。
	15	第15回 第七課の続き、非人称動詞、練習問題。
	16	第16回 前期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「魔法使いのつぶやき —練習で学ぼう、キラめくドイツ語—」 春日正男、松澤 淳 著、同学社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木5																										
開講期間																													
必修選択	必	単位数	1.0																										
時間割コード	20110590017003	科目番号	05900170																										
授業科目名	●ドイツ語 I (M13~15)																												
編集担当教員	目 正勝																												
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																												
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																												
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																										
教室	[全]104																												
対象学生(クラス等)	M13~15																												
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																												
担当教員研究室	非常勤講師室																												
担当教員TEL	096-322-0277																												
担当教員オフィスマワー	質問等はメールで随時受け付ける																												
授業のねらい	発音から始めて、文の構造、文法、語彙など、ドイツ語の「読む、聞く、話す」を総合的に学習する。テキストのドイツ語文の解説や練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、そしてドイツ語文読解のための確実な土台を作る。																												
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																												
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																												
授業内容	<p>テキストは12課から成っている。2回半の授業で1課を終えるぐらいのペースで、前期は第6課まで進む。まず発音規則を覚え込むことから始め、その後、名詞や動詞などの語形変化、文の構造の把握、助動詞の用法などが続く。分離動詞や再帰動詞の用法まで進む。</p> <p>教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。</p> <p>発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。</p> <p>折に触れて小テストをする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第零課、ドイツ語のあいさつ、数詞、第一課。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第一課の続き、本文和訳、人称代名詞、動詞の現在人称変化、疑問詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第二課、本文和訳、名詞と冠詞、名詞の性、語順。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第二課の続き、決定疑問文と答え方、数詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第二課の続き、第三課、本文和訳、定冠詞と名詞の格変化、名詞の複数形。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第三課の続き、並列の接続詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第三課の続き、第四課、本文和訳、不定冠詞、所有冠詞、否定冠詞。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第四課の続き、不定冠詞類、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 第四課の続き、第五課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞、名詞の3格。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 第五課の続き、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回 第五課の続き、第六課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞(2)。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。	2	第2回 第零課、ドイツ語のあいさつ、数詞、第一課。	3	第3回 第一課の続き、本文和訳、人称代名詞、動詞の現在人称変化、疑問詞、練習問題。	4	第4回 第二課、本文和訳、名詞と冠詞、名詞の性、語順。	5	第5回 第二課の続き、決定疑問文と答え方、数詞、練習問題。	6	第6回 第二課の続き、第三課、本文和訳、定冠詞と名詞の格変化、名詞の複数形。	7	第7回 第三課の続き、並列の接続詞、練習問題。	8	第8回 第三課の続き、第四課、本文和訳、不定冠詞、所有冠詞、否定冠詞。	9	第9回 第四課の続き、不定冠詞類、練習問題。	10	第10回 第四課の続き、第五課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞、名詞の3格。	11	第11回 第五課の続き、練習問題。	12	第12回 第五課の続き、第六課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞(2)。
回	内容																												
1	第1回 文字と発音、アルファベットの名称を覚える。																												
2	第2回 第零課、ドイツ語のあいさつ、数詞、第一課。																												
3	第3回 第一課の続き、本文和訳、人称代名詞、動詞の現在人称変化、疑問詞、練習問題。																												
4	第4回 第二課、本文和訳、名詞と冠詞、名詞の性、語順。																												
5	第5回 第二課の続き、決定疑問文と答え方、数詞、練習問題。																												
6	第6回 第二課の続き、第三課、本文和訳、定冠詞と名詞の格変化、名詞の複数形。																												
7	第7回 第三課の続き、並列の接続詞、練習問題。																												
8	第8回 第三課の続き、第四課、本文和訳、不定冠詞、所有冠詞、否定冠詞。																												
9	第9回 第四課の続き、不定冠詞類、練習問題。																												
10	第10回 第四課の続き、第五課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞、名詞の3格。																												
11	第11回 第五課の続き、練習問題。																												
12	第12回 第五課の続き、第六課、本文和訳、現在人称変化の不規則な動詞(2)。																												

	13	第13回 第六課の続き、人称代名詞、非人称のes、練習問題。
	14	第14回 第六課の続き、補足練習問題(小冊子)。
	15	第15回 第六課の続き、補足練習問題(小冊子)。
	16	第16回 前期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		「ドイツ語インフォメーション <新訂版>」 秋田静男、江口陽子 他 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590017004	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (M11~12)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	M11・12		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本文法とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り練習によってドイツ語の発音に慣れることです。既習の語彙と文法事項の定着を図るため、適宜小テストを行うことがあります。		
授業到達目標	ドイツ語 I で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につけること。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 4月8日 挨拶、姓名、出身地、住所及び年齢を尋ね、それに答える(自己紹介)	
	2	第2回 4月15日 アルファベット 発音 現在人称変化 I 規則動詞 不規則動詞sein	
	3	第3回 4月22日 疑問詞のある疑問文 Ja/Neinで答える疑問文	
	4	第4回 5月6日 余暇について尋ね、それに答える	
	5	第5回 5月13日 現在人称変化 II 不規則動詞haben 否定疑問文の用法	
	6	第6回 5月20日 動詞の名詞化 語順 否定詞nichtの位置	
	7	第7回 5月27日 持ち物について尋ね、それに答える	
	8	第8回 6月3日 名詞の性 定冠詞 不定冠詞	
	9	第9回 6月10日 否定冠詞 所有冠詞	
	10	第10回 6月17日 人称代名詞の1格と4格 名詞の複数形	
	11	第11回 6月24日 家族について尋ね、それに答える	
	12	第12回 7月1日 格変化 人称代名詞の3格	
	13	第13回 7月8日 否定詞nichtと否定冠詞kein	
	14	第14回 7月15日 買い物について尋ね、それに答える	
15	第15回 7月22日 dieserとwelcher 指示代名詞 非人称主語es		

	16 第16回 7月29日または8月5日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書・教材・参考書	教科書「入門ドイツ語プラクティッシュ」 三宅・コッホ 三修社 独和辞典は当面は不要です。教科書のみ必ず購入してください。
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表および小テストの結果(50%)で評価します。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる文法項目と表現の意味を確認しておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。

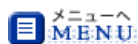


学期	前期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590017005	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (T23A~24B)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	T23A~24B		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語 I で学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 4月8日 つづり字の読み方と発音 挨拶をする	
	2	第2回 4月15日 "	
	3	第3回 4月22日 動詞の人称変化、文の作り方 知り合いになる	
	4	第4回 5月6日 "	
	5	第5回 5月13日 文法上の性と格 食べ物の注文をする	
	6	第6回 5月20日 "	
	7	第7回 5月27日 冠詞類 買い物の相談をする	
	8	第8回 6月3日 "	
	9	第9回 6月10日 不規則変化動詞、命令形 食事の相談をする	
	10	第10回 6月17日 "	
	11	第11回 6月24日 前置詞の格支配 どこに行くか尋ねる	
	12	第12回 7月1日 "	
	13	第13回 7月8日 複数形 市場で果物などを買う	
	14	第14回 7月15日 "	
15	第15回 7月22日 前期のまとめ(文法の補足)		

	16 第16回目 7月29日または8月5日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金5
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590017006	科目番号	05900170
授業科目名	●ドイツ語 I (T20A~22A)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	T20A~22A		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務局)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、現在形で本文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Iで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 4月8日 テーマ:あいさつ(1)／人と知り合う／紹介(名前・出身地・居住地・職業・趣味) 文法:アルファベット／発音／人称代名詞／動詞の現在人称変化(規則動詞、sein)／疑問文の種類と答え方／疑問詞	
	2	第2回 4月15日 "	
	3	第3回 4月22日 "	
	4	第4回 5月6日 テーマ:時刻／あいさつ(2)／時を表す表現(1)／人を誘う／アドレスとケータイ番号を尋ねる／食べ物と飲み物／メール 文法:動詞の現在人称変化(haben、不規則動詞)／ドイツ語の語順(定動詞第2位の原則、疑問文の語順)	
	5	第5回 5月13日 "	
	6	第6回 5月20日 "	
	7	第7回 5月27日 テーマ:道の尋ね方・答え方／位置・方向を表す語／建物など／～してください／持ってる？持っていない？ 文法:duとSie／命令形／名詞の性／定冠詞と不定冠詞／冠詞と名詞の格変化(1・4格)／否定冠詞(1・4格)／所有冠詞(1・4格)	
	8	第8回 6月3日 "	
	9	第9回 6月10日 "	
	10	第10回 6月17日 "	
	第11回 6月24日 テーマ:買い物／値段／プレゼント／気に入った？／家族・親戚		

	11	文法:名詞と冠詞の3格／複数形／人称代名詞の格変化／前置詞(1)／否定の語を含む疑問文とその答え方
	12	第12回 7月1日 "
	13	第13回 7月8日 "
	14	第14回 7月15日 "
	15	第15回 7月22日 前期のまとめ(文法の補足等を含む)
	16	第16回目 7月29日または8月5日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得	
教科書・教材・参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」CD付き 飯田／江口 三修社 独和辞典は当面は不要。授業開始後必要に応じて紹介する。	
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。	
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。	
本科目の位置づけ		
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。	
備考(URL)		
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590019016	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(La～f・F27～28)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	F27・28		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	初級文法を習得し、授業で憶えた語彙を使い、二人一組のパートナーに自分の一日の出来事をドイツ語で話し、パートナーがそれについての質問をし、さらにそれに答えることです。		
授業方法(学習指導法)	二人一組でドイツ語会話を繰り返し、音に慣れる。		
授業到達目標	学生がドイツ語文を人称変化や格変化にとらわれず滑らかに話すことができるようにすること。		
授業内容	ドイツ語はインド・ヨーロッパ語と呼ばれる語族に属する西ゲルマン語であり、他に主な言語として英語がある。同じ語族の英語の知識を参考にしながら授業を進める。私のドイツ在住・通訳体験などのエピソードも授業に盛り込む。		
	回	内容	
	1	現在完了形(1)	
	2	現在完了形(2)	
	3	分離動詞	
	4	形容詞	
	5	第1回から4回までの復習	
	6	再起動詞・esの用法	
	7	関係代名詞(1)	
	8	関係代名詞(2)	
	9	受動態	
	10	第6回から9回までの復習	
	11	接続法(1)	
	12	接続法(2)	
	13	分詞・zu不定詞	
	14	第11回から13回までの復習	
	15	ビデオでドイツを見る	
	16	第16回 定期試験	

キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく
教科書・教材・参考書	『気分はドイツ』 著者：本郷建治 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	水1
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590019018	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(E5～10)		
編集担当教員	仲井 幹也		
授業担当教員名(科目責任者)	仲井 幹也		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	仲井 幹也		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	E5～10		
担当教員Eメールアドレス	m-nakai@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	経済学部本館524研究室		
担当教員TEL	095-820-6399		
担当教員オフィスマワー	授業の前後		
授業のねらい	すべての時制でドイツ語の初級文法を学び、平易な文章であれば、辞書さえ使えば自分ひとりで読めるようにする。また道順の説明、序数の表現等の日常生活で必要となるごく初歩的な表現もおぼえる。授業中の質問に対する答え、練習問題への解答は、そのつど授業への参加状況(0.8～1.2)に反映させます。		
授業方法(学習指導法)	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。あわせて日独の生活習慣上の相違点なども機会あるごとに説明していく。		
授業到達目標	やや盛りだくさんの教科書なので、全体の内容の最も基本的な六割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	教科書に添って、読解、文法説明、練習問題をする。練習問題などの予習が必要となるが、文法説明を受ける以前にその文法事項を含んだ問題を予習しなければならないことがしばしば起こる。その場合はできる範囲で問題を解けばよい。予習では、正解を見つけるのではなく、自分が何がわかり何が分からなかったかをはっきりさせることが、一番大事なことです。		
	回	内容	
	1	動詞の三基本形、過去	
	2	現在完了	
	3	過去完了、未来完了	
	4	再帰動詞	
	5	zu不定詞	
	6	esの用法	
	7	比較	
	8	受動態	
	9	関係代名詞	
	10	指示代名詞	
	11	不定関係代名詞、関係副詞	
	12	接続法(1)	
	13	接続法(2)	

	14	ランデスクンデ
	15	総復習
	16	総復習と定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書	小島／仲井『やあ、みんな！』同学社	
成績評価の方法・基準等	筆記試験で評価しますが、授業への参加状況も重視します。(筆記試験総点×授業への参加状況0.8～1.2＝成績)従って授業をおろそかにする人は、試験が60点を越えても単位が取れない場合があります。みんなしっかり予習してください。	
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



メニューへ



ログアウト



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバス一覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1798秒です。

印刷



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	水2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590019017	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語 II (P18～19)		
編集担当教員	葉柳 和則		
授業担当教員名(科目責任者)	葉柳 和則		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	葉柳 和則		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]402		
対象学生(クラス等)	1年次		
担当教員Eメールアドレス	hayanagi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	環境科学部本館4F南側		
担当教員TEL	819-2739		
担当教員オフィスアワー	金曜日14:30-16:00		
授業のねらい	ドイツ語の基本を身に付ける		
授業方法(学習指導法)	ポイントを押さえた文法解説と実践的練習のサイクルを軸にする。		
授業到達目標	ドイツ語検定4級合格		
授業内容	会話練習を軸にしてドイツ文法の基礎を学ぶ。		
	回	内容	
	1	冠詞類	
	2	zu不定詞	
	3	分離動詞	
	4	話法の助動詞	
	5	過去形	
	6	現在完了形	
	7	受動態	
	8	形容詞の格変化	
	9	比較級と最上級	
	10	関係代名詞	
	11	命令形	
	12	接続法	
	13	会話練習	
	14	会話練習	
	15	まとめ	
16	試験		
キーワード	ヒアリング、スピーキング、読解、作文、文法、ドイツ語検定		
	清野 智昭『ドイツ語の時間<話すための文法>改訂版』郁文堂 (2010)		

教科書・教材・参考書	独和辞典については講義中に指示(自分の判断で買わないこと)
成績評価の方法・基準等	予習・復習の実行状況(30%) 講義中の取り組み方(30%) ○定期試験(40%)
受講要件(履修条件)	特になし
本科目の位置づけ	ドイツ語の基礎の基礎
学習・教育目標	独検5級合格
備考(URL)	http://havanagi-semi.web.infoseek.co.jp/
備考(準備学習等)	予習、復習は必須



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木3																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590019010	科目番号	05900190																				
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(K25～26)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]204																						
対象学生(クラス等)	K25・26																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																						
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																						
授業内容	<p>前期に引き続いて、テキストに従って進む。 過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。形容詞の格変化、関係代名詞、受動態などを学んだ後、形容詞の比較級、最高級の用法へと進む。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第九課、動詞の3基本形。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第十一課、定関係代名詞。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。	2	第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。	3	第3回 第九課、動詞の3基本形。	4	第4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。	5	第5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。	6	第6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。	7	第7回 第十一課、定関係代名詞。	8	第8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。	9	第9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。
回	内容																						
1	第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。																						
2	第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。																						
3	第3回 第九課、動詞の3基本形。																						
4	第4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。																						
5	第5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。																						
6	第6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。																						
7	第7回 第十一課、定関係代名詞。																						
8	第8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。																						
9	第9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。																						

	10	第10回 第十二課の続き、zu不定詞、練習問題。
	11	第11回 第十三課、受動態、能動文と受動文。
	12	第12回 第十三課の続き、状態受動、練習問題。
	13	第13回 第十四課、接続法、要求話法、間接話法。
	14	第14回 第十四課の続き、非現実話法、練習問題。
	15	第15回 第十四課の続き、非現実話法、補足練習問題。
	16	第16回 後期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「怖くはないぞドイツ文法」春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木4																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590019011	科目番号	05900190																				
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(D16～17)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																						
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]204																						
対象学生(クラス等)	D16・17																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎を学習する。 例文の解説や練習問題を通じて文法を理解し、語彙を増やし、正確な発音を身につけ、ドイツ語文読解のための確実な土台をつくる。 テキストのドイツ語文やその他の記事を読んで、ドイツの歴史、地理や文化、また現代ドイツの諸事情についても理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。 発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																						
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。 簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																						
授業内容	<p>前期に引き続いて、テキストに従って進む。 過去、現在完了では、動詞の三基本形を覚える。形容詞の格変化、関係代名詞、受動態などを学んだ後、形容詞の比較級、最高級の用法へと進む。仮定表現まで進んで、ドイツ語文法の全体像をつかむ。 折に触れて小テスト、レポート提出などを課す。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化は繰り返し繰り返し練習する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第九課、動詞の3基本形。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第十一課、定関係代名詞。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。	2	第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。	3	第3回 第九課、動詞の3基本形。	4	第4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。	5	第5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。	6	第6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。	7	第7回 第十一課、定関係代名詞。	8	第8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。	9	第9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。
回	内容																						
1	第1回 第八課、形容詞の格変化、名詞化。																						
2	第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。																						
3	第3回 第九課、動詞の3基本形。																						
4	第4回 第九課の続き、動詞の過去人称変化、練習問題。																						
5	第5回 第十課、完了、haben支配とsein支配。																						
6	第6回 第十課の続き、現在完了と過去完了、練習問題。																						
7	第7回 第十一課、定関係代名詞。																						
8	第8回 第十一課の続き、不定関係代名詞、練習問題。																						
9	第9回 第十二課、比較級と最高級、現在分詞。																						

	10	第10回 第十二課の続き、zu不定詞、練習問題。
	11	第11回 第十三課、受動態、能動文と受動文。
	12	第12回 第十三課の続き、状態受動、練習問題。
	13	第13回 第十四課、接続法、要求話法、間接話法。
	14	第14回 第十四課の続き、非現実話法、練習問題。
	15	第15回 第十四課の続き、非現実話法、補足練習問題。
	16	第16回 後期末試験。
キーワード		
教科書・教材・参考書		「魔法使いのつぶやき —練習で学ぼう、キラめくドイツ語—」 春日正男、松澤 淳 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木5																										
開講期間																													
必修選択	必	単位数	1.0																										
時間割コード	20110590019012	科目番号	05900190																										
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ (M13～15)																												
編集担当教員	目 正勝																												
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																												
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																												
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習																												
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目																										
教室	[全]204																												
対象学生(クラス等)	M13～15																												
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																												
担当教員研究室	非常勤講師室																												
担当教員TEL	096-322-0277																												
担当教員オフィスアワー	質問等はメールで随時受け付ける																												
授業のねらい	発音から始めて、文の構造、文法、語彙など、ドイツ語の「読む、聞く、話す」を総合的に学習する。テキストのドイツ語文の解説や練習問題を通じて、文法を理解し、語彙を増やし、そしてドイツ語文読解のための確実な土台を作る。																												
授業方法(学習指導法)	テキストに従いながら、文法の解説と練習問題の演習を併せて進めてゆく。単語については、よく調べておかなければならない。発音やドイツ語文の朗読練習もする。独作文や和訳では、多くの人に発表の機会があるようにする。																												
授業到達目標	正確な発音で読める。初級文法をひと通り身につけ、平易なドイツ語文であれば辞書を引きながらでも読んで理解することができる。簡単な会話文であれば、聞き取ったり、発話したりすることができる。																												
授業内容	<p>後期は第七課から十二課まで。 前置詞や話法の助動詞を学んだあと、分離動詞や形容詞の格変化へと進む。動詞の三基本形は特に時間をかけて学習する。その後、現在完了へと進む。 教室では、文法の説明のあと、練習問題にできるだけ多く取り組む。前もって単語の意味を調べておかなければならない。 発音や語形変化を繰り返し繰り返し練習する。 折に触れて小テストをする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第七課、本文の和訳、前置詞、融合形。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第七課の続き、数詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第七課の続き、第八課、本文の和訳、話法の助動詞。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第八課の続き、助動詞の意味の補足、数詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第八課の続き、第九課、本文の和訳、分離動詞、命令形</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第九課の続き、時刻表現、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第九課の続き、第十課、本文の和訳、形容詞の格変化。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第十課の続き、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第十課の続き、第十一課、本文の和訳、動詞の三基本形。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回 第十一課の続き、三基本形、過去人称変化、従属の接続詞、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回 第十一課の続き、第十二課、本文の和訳、現在完了。</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>第12回 第十二課の続き、分離動詞の現在完了、練習問題。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第七課、本文の和訳、前置詞、融合形。	2	第2回 第七課の続き、数詞、練習問題。	3	第3回 第七課の続き、第八課、本文の和訳、話法の助動詞。	4	第4回 第八課の続き、助動詞の意味の補足、数詞、練習問題。	5	第5回 第八課の続き、第九課、本文の和訳、分離動詞、命令形	6	第6回 第九課の続き、時刻表現、練習問題。	7	第7回 第九課の続き、第十課、本文の和訳、形容詞の格変化。	8	第8回 第十課の続き、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。	9	第9回 第十課の続き、第十一課、本文の和訳、動詞の三基本形。	10	第10回 第十一課の続き、三基本形、過去人称変化、従属の接続詞、練習問題。	11	第11回 第十一課の続き、第十二課、本文の和訳、現在完了。	12	第12回 第十二課の続き、分離動詞の現在完了、練習問題。
回	内容																												
1	第1回 第七課、本文の和訳、前置詞、融合形。																												
2	第2回 第七課の続き、数詞、練習問題。																												
3	第3回 第七課の続き、第八課、本文の和訳、話法の助動詞。																												
4	第4回 第八課の続き、助動詞の意味の補足、数詞、練習問題。																												
5	第5回 第八課の続き、第九課、本文の和訳、分離動詞、命令形																												
6	第6回 第九課の続き、時刻表現、練習問題。																												
7	第7回 第九課の続き、第十課、本文の和訳、形容詞の格変化。																												
8	第8回 第十課の続き、再帰代名詞、再帰動詞、練習問題。																												
9	第9回 第十課の続き、第十一課、本文の和訳、動詞の三基本形。																												
10	第10回 第十一課の続き、三基本形、過去人称変化、従属の接続詞、練習問題。																												
11	第11回 第十一課の続き、第十二課、本文の和訳、現在完了。																												
12	第12回 第十二課の続き、分離動詞の現在完了、練習問題。																												

	13	第13回 第十二課の続き、過去と現在完了、練習問題。
	14	第14回 第十二課の続き、文法の補足および補足練習問題(小冊子)。
	15	第15回 文法の補足および補足練習問題(小冊子)。
	16	第16回 後期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		「ドイツ語インフォメーション <新訂版>」 秋田静男、江口陽子 他 著、朝日出版社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。





シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590019013	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(M11~12)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	M11・12		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本文法とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り練習によってドイツ語の発音に慣れることです。既習の語彙と文法事項の定着を図るため、小テストを行うことがあります。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につけること。		
授業内容	1、発音 2、初級文法、 3、コミュニケーション、 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 10月7日 一日のできごとについて尋ね、それに答える	
	2	第2回 10月14日 分離動詞 非分離動詞 命令形	
	3	第3回 10月21日 ショッピングセンターでの質問と答え	
	4	第4回 10月28日 話法の助動詞 manの用法	
	5	第5回 11月4日 町での質問と答え	
	6	第6回 11月11日 場所と方向を表す前置詞+3格か4格(1)	
	7	第7回 11月18日 一日のできごと(過去)について尋ね、それに答える	
	8	第8回 11月25日 seinとhabenの過去人称変化 現在完了形(1)	
	9	第9回 12月2日 旅行について尋ね、それに答える	
	10	第10回 12月9日 行き先と場所を表す前置詞+3格か4格(2)	
	11	第11回 12月16日 現在完了形(2)	
	12	第12回 1月6日 文法の補足Ⅰ 形容詞の形(形容詞の格変化)	
	13	第13回 1月20日 文法の補足Ⅱ 人や事物を比べる表現(比較級・最高級)	
	14	第14回 1月27日 文法の補足Ⅲ 「~される」ことを表す動詞の形(受動形)	
15	第15回 2月3日 文法の補足Ⅳ 副文をつくる接続詞(従属接続詞)		

	16 第16回目 2月10日または2月17日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書・教材・参考書	教科書「入門ドイツ語プラクティッシュ」 三宅・コッホ 三修社
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表および小テストの結果(50%)で評価します。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる文法項目と表現の意味を確認しておくことが望ましい。

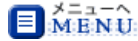


Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1792秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	金4
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590019014	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T23A～24B)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	T23A～24B		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務局)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で主文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 10月7日	形容詞の格変化、人称代名詞 空腹などを訴える
	2	第2回 10月14日	〃
	3	第3回 10月21日	話法の助動詞、未来形 外出に誘う
	4	第4回 10月28日	〃
	5	第5回 11月4日	分離動詞、再帰代名詞、再帰動詞 駅で列車の出発時刻などを尋ねる
	6	第6回 11月11日	〃
	7	第7回 11月18日	ZU不定詞 相談にのってくれるように頼む 比較表現 物事を比べる
	8	第8回 11月25日	〃
	9	第9回 12月2日	三基本形、過去人称変化、接続詞 ぶつぶつ文句を言う
	10	第10回 12月9日	〃
	11	第11回 12月16日	現在完了形、過去完了形 何をしたかを尋ねる
	12	第12回 1月6日	〃
	13	第13回 1月20日	受動形 招待される 関係文 休暇の計画を立てる
	14	第14回 1月27日	〃
15	第15回 2月3日	後期のまとめ(文法の補足)	

	16 第16回目 2月10日または2月17日 定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得
教科書・教材・参考書	「新生ドイツ文法」 V5 在間進 朝日出版社
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金5
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590019015	科目番号	05900190
授業科目名	●ドイツ語Ⅱ(T20A～22A)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	外国語科目、A科目 外国語 初習		
対象年次	1年,2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	T20A～22A		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	ドイツ語発音の基本的ルールをマスターし、接続法を除くほぼすべての初級文法事項を理解する。現在形で本文のみの文であれば、ごく簡単な読解・作文・会話ができる。あわせてドイツ語圏の社会事情や文化を理解する。		
授業方法(学習指導法)	下記「授業内容」の毎週のテーマについて、キーセンテンスを用いてパートナー間や小グループ内で自由に話し合い、実際に演じてもらう。その際に表現の基礎となる重要な文法事項について分かり易く説明する。また、基本文法確認レポートを各自作成し、それを担当教員が点検しコメントをする。さらに、既習の語彙と表現の定着を図るため、適宜小テストを行うことがある。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱで学習する教科書の内容の6割の部分を完全に理解し、それをほぼ正確に使いこなす能力を身につける。		
授業内容	1、発音 2、初級文法 3、コミュニケーション 4、文化・社会事情		
	回	内容	
	1	第1回 10月7日 テーマ:週末や休暇の予定/天候/一日の行動/日常生活 文法:分離動詞/前置詞と定冠詞の融合形/語法の助動詞/非人称のes/日常生活で使う分離動詞/分離動詞に似た使い方を表す表現/形容詞	
	2	第2回 10月14日 "	
	3	第3回 10月21日 "	
	4	第4回 10月28日 テーマ:過去のできごと(1)/時を表す表現(2) 文法:過去分詞/現在完了	
	5	第5回 11月4日 "	
	6	第6回 11月11日 "	
	7	第7回 11月18日 テーマ:過去のできごと(2)/位置の表現/~がある/遅刻/メルヒェン 文法:過去基本形/過去時制/前置詞(2)/es gibt...	
	8	第8回 11月25日 "	
	9	第9回 12月2日 テーマ:修理/家事/開店時間/閉店時間/料理/比較の表現 文法:受動文/再帰代名詞と再帰動詞/比較級・最上級	
	10	第10回 12月9日 "	
	11	第11回 12月16日 "	
12	第12回 1月6日 テーマ:ふたつの文をひとつにする/病気/色 文法:zu不定動詞/従属の接続詞と副文/関係文		

	13	第13回 1月20日	”
	14	第14回 1月27日	”
	15	第15回 2月3日	後期のまとめ(文法の補足)
	16	第16回目 2月10日または17日	定期試験
キーワード	正確な発音と初級文法の習得		
教科書・教材・参考書	「アプファールト スキットで学ぶドイツ語」CD付き 飯田／江口 三修社		
成績評価の方法・基準等	○定期試験(50%)、平常点(50%)。なお平常点は、口頭による授業への参加状況、基本文法確認レポートおよび小テストの結果から算定する。		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ			
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。		
備考(URL)			
備考(準備学習等)	平素より基本文法確認レポートを自分で調べ、完成させておくことが望ましい。		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

LiveCampus

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590021023	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2M11)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2M11・12		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	ビデオでドイツを紹介、自己紹介	
	2	自分の一日の生活	
	3	旅行	
	4	空港、駅の窓口	
	5	レストランで注文する	
	6	食事の勘定を支払う	
	7	ペンションを電話で予約する	
	8	郵便局はどこですか	
	9	この近くにスーパーはありますか	
	10	日本への手紙はいくらですか	
	11	そちらの天気はどうですか	
	12	雨が降れば、何をしますか	
	13	誕生日に辞書をプレゼントしたらいいかしら	
	14	カメラ店で	
	15	ドイツのお祝い	
16	定期試験		
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。

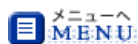


学期	前期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590021024	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2D16～17・2T20A～21A)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2M11・12		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	ビデオでドイツを紹介、自己紹介	
	2	自分の一日の生活	
	3	旅行	
	4	空港、駅の窓口	
	5	レストランで注文する	
	6	食事の勘定を支払う	
	7	ペンションを電話で予約する	
	8	郵便局はどこですか	
	9	この近くにスーパーはありますか	
	10	日本への手紙はいくらですか	
	11	そちらの天気はどうか	
	12	雨が降れば、何をしますか	
	13	誕生日に辞書をプレゼントしたらいいかしら	
	14	カメラ店で	
	15	ドイツのお祝い	
16	定期試験		
キーワード	何度も発音すればするほどドイツ語は身につく		

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火2																								
開講期間																											
必修選択	必	単位数	1.0																								
時間割コード	20110590021021	科目番号	05900210																								
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2M12・2K25～26)																										
編集担当教員	清原 明代																										
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代																										
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代																										
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目																										
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																								
教室	[全]104																										
対象学生(クラス等)	2M12,2K																										
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp																										
担当教員研究室	非常勤講師控室																										
担当教員TEL																											
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。																										
授業のねらい	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルアップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている〈出来事〉への関心を高めていってほしいと考えています。																										
授業方法(学習指導法)	教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。二回目以降は数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行ってまいります。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っておいください(授業内容・成績評価項目参照)。																										
授業到達目標	内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。																										
授業内容	<p>前期は第5章まで読み進めます。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。</p> <p>【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の〈正しさ〉よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回(4月12日)授業の説明。第1章【第21回冬季オリンピック】前半。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回(4月16日※土曜日※)第1章後半。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回(4月19日)第1章確認問題。文法練習問題(動詞の三基本形等)。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回(4月26日)第2章【第19回サッカーW杯】前半。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回(5月10日)第2章後半。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回(5月17日)第2章確認問題。文法練習問題(冠詞の格変化等)。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回(5月24日)第3章【ノーベル文学賞/ヘルタ・ミュラー】前半。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回(6月7日)第3章後半。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回(6月14日)第3章確認問題。文法練習問題(haben支配・sein支配等)。</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>第10回(6月21日)第4章【第55回ユーロビジョン歌謡大賞】前半。</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>第11回(6月28日)第4章後半。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回(4月12日)授業の説明。第1章【第21回冬季オリンピック】前半。	2	第2回(4月16日※土曜日※)第1章後半。	3	第3回(4月19日)第1章確認問題。文法練習問題(動詞の三基本形等)。	4	第4回(4月26日)第2章【第19回サッカーW杯】前半。	5	第5回(5月10日)第2章後半。	6	第6回(5月17日)第2章確認問題。文法練習問題(冠詞の格変化等)。	7	第7回(5月24日)第3章【ノーベル文学賞/ヘルタ・ミュラー】前半。	8	第8回(6月7日)第3章後半。	9	第9回(6月14日)第3章確認問題。文法練習問題(haben支配・sein支配等)。	10	第10回(6月21日)第4章【第55回ユーロビジョン歌謡大賞】前半。	11	第11回(6月28日)第4章後半。
回	内容																										
1	第1回(4月12日)授業の説明。第1章【第21回冬季オリンピック】前半。																										
2	第2回(4月16日※土曜日※)第1章後半。																										
3	第3回(4月19日)第1章確認問題。文法練習問題(動詞の三基本形等)。																										
4	第4回(4月26日)第2章【第19回サッカーW杯】前半。																										
5	第5回(5月10日)第2章後半。																										
6	第6回(5月17日)第2章確認問題。文法練習問題(冠詞の格変化等)。																										
7	第7回(5月24日)第3章【ノーベル文学賞/ヘルタ・ミュラー】前半。																										
8	第8回(6月7日)第3章後半。																										
9	第9回(6月14日)第3章確認問題。文法練習問題(haben支配・sein支配等)。																										
10	第10回(6月21日)第4章【第55回ユーロビジョン歌謡大賞】前半。																										
11	第11回(6月28日)第4章後半。																										

	12	第12回(7月5日)第4章確認問題。文法練習問題(動詞の人称変化等)。
	13	第13回(7月12日)第5章【ギリシャの財政危機】前半。
	14	第14回(7月19日)第5章後半。
	15	第15回(7月26日)第5章確認問題。文法練習問題(人称代名詞、関係代名詞等)。
	16	第16回(8月2日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラーブ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



 Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。

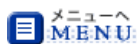


学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590021022	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2T21B～23B)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]104		
対象学生(クラス等)	2T21B～23B		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルアップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている〈出来事〉への関心を高めていてもらいたいと考えています。		
授業方法(学習指導法)	教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。二回目以降は数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行ってまいります。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っておいください(授業内容・成績評価項目参照)。		
授業到達目標	内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。		
授業内容	前期は第5章まで読み進めます。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。 【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の〈正しさ〉よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	第1回(4月12日)授業の説明。第1章【第21回冬季オリンピック】前半。	
	2	第2回(4月16日※土曜日※)第1章後半。	
	3	第3回(4月19日)第1章確認問題。文法練習問題(動詞の三基本形等)。	
	4	第4回(4月26日)第2章【第19回サッカーW杯】前半。	
	5	第5回(5月10日)第2章後半。	
	6	第6回(5月17日)第2章確認問題。文法練習問題(冠詞の格変化等)。	
	7	第7回(5月24日)第3章【ノーベル文学賞/ヘルタ・ミュラー】前半。	
	8	第8回(6月7日)第3章後半。	
	9	第9回(6月14日)第3章確認問題。文法練習問題(haben支配・sein支配等)。	
	10	第10回(6月21日)第4章【第55回ユーロビジョン歌謡大賞】前半。	
11	第11回(6月28日)第4章後半。		

	12	第12回(7月5日)第4章確認問題。文法練習問題(動詞の人称変化等)。
	13	第13回(7月12日)第5章【ギリシャの財政危機】前半。
	14	第14回(7月19日)第5章後半。
	15	第15回(7月26日)第5章確認問題。文法練習問題(人称代名詞、関係代名詞等)。
	16	第16回(8月2日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラーブ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	木2																				
開講期間																							
必修選択	必	単位数	1.0																				
時間割コード	20110590021019	科目番号	05900210																				
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2E5～10)																						
編集担当教員	目 正勝																						
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝																						
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目																						
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目																				
教室	[全]104																						
対象学生(クラス等)	2E5～10																						
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
担当教員研究室	非常勤講師室																						
担当教員TEL	096-322-0277																						
担当教員オフィスマワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp																						
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。																						
授業方法(学習指導法)	様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 テキストは中級ドイツ語への橋渡しのもの、文法の再確認とドイツ語文章の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。プリントによって数編の読み物を適宜補足する。 教室では毎回4～5人の人に和訳をしてもらい、前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこなければならない。 できるだけ多くの人に文法や独作文の練習問題の答えを発表してもらう。																						
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。																						
授業内容	<p>テキストは12課+終章、つまり13～14の章に分かれている。前期は7課まで。したがって大体2回の授業で1課を終えるペースで進む。</p> <p>それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3～4人の人に訳してもらい、そして本文の後にある文法練習、表現練習、また本文の内容についての読解問題については、できるだけ多くの人に答えを発表する機会があるようにする。</p> <p>テキストはとくに独作文、ドイツ語表現に重点を置いている。</p> <p>折に触れてレポートを課す。また関連する読み物を読む。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>第1回 第一課、「トイレでノックするな」を読む、～がある／いる、es gibt +4格とes istの違い。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>第2回 第一課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>第3回 第二課、「ドイツ人と音 —音楽かならずしも楽音ならず」を読む、接続法の表現。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>第4回 第二課の続き、前つづりの意味、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>第5回 第三課、「ドイツ人はケチ？」を読む、造語法、序数と分数。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>第6回 第三課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>第7回 第四課、「ドイツ人のジョーク」を読む、wissen とkennen、過去分詞の形容詞用法。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>第8回 第四課の続き、冠飾句、練習問題。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>第9回 第五課、「割り勘」を読む、接頭辞と接尾辞。</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	第1回 第一課、「トイレでノックするな」を読む、～がある／いる、es gibt +4格とes istの違い。	2	第2回 第一課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。	3	第3回 第二課、「ドイツ人と音 —音楽かならずしも楽音ならず」を読む、接続法の表現。	4	第4回 第二課の続き、前つづりの意味、練習問題。	5	第5回 第三課、「ドイツ人はケチ？」を読む、造語法、序数と分数。	6	第6回 第三課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。	7	第7回 第四課、「ドイツ人のジョーク」を読む、wissen とkennen、過去分詞の形容詞用法。	8	第8回 第四課の続き、冠飾句、練習問題。	9	第9回 第五課、「割り勘」を読む、接頭辞と接尾辞。
回	内容																						
1	第1回 第一課、「トイレでノックするな」を読む、～がある／いる、es gibt +4格とes istの違い。																						
2	第2回 第一課の続き、文法練習問題、表現練習問題など。																						
3	第3回 第二課、「ドイツ人と音 —音楽かならずしも楽音ならず」を読む、接続法の表現。																						
4	第4回 第二課の続き、前つづりの意味、練習問題。																						
5	第5回 第三課、「ドイツ人はケチ？」を読む、造語法、序数と分数。																						
6	第6回 第三課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。																						
7	第7回 第四課、「ドイツ人のジョーク」を読む、wissen とkennen、過去分詞の形容詞用法。																						
8	第8回 第四課の続き、冠飾句、練習問題。																						
9	第9回 第五課、「割り勘」を読む、接頭辞と接尾辞。																						

	10	第10回 第五課の続き、比較、従属接続詞、練習問題。
	11	第11回 第六課、「ドイツ人とサントイッチ」を読む、動詞の不定形、名詞文法。
	12	第12回 第六課の続き、未来受動分詞の用法、練習問題。
	13	第13回 第七課、「ドイツ人の時間感覚」を読む、wasの用法。
	14	第14回 第七課の続き、訳しにくい動詞と名詞、練習問題。
	15	第15回 第七課の続き、プリントによる補足読み物。
	16	第16回 前期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		「新 ドイツ語読みかた教室 —中級表現練習読本—」 大谷弘道、大谷ウルズラ 著、三修社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590021020	科目番号	05900210
授業科目名	●ドイツ語Ⅲ(2L1～2・2P18～19・2F27～28)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	2L1・2、2P,2F		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(全学教育事務局)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅱまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化について簡単に説明できるようになることです。		
授業内容	ドイツ語Ⅱまでの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノログやダイアログ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜聴き取り練習を行います。 この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語Ⅲでは前半5課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 テーマ(場面・言語行為) ドイツ事情(読解テキスト) 復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は4月8日に始まり、第15回目の授業(7月22日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(7月29日または8月5日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それをういて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。		
キーワード	パートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習		
教科書・教材・参考書	[教科書] CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		

本科目の位置づけ	
学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



長崎大学 学務情報システム

NU-Web System



シラバス関連 > シラバス参照 > シラバス検索 > シラバスイ覧 > シラバス参照

[Login User](#)

『 全学教育 』

タイムアウトまでおよそ1800秒です。

印刷



シラバス参照

タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学教育_ドイツ語**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

学期	後期	曜日・校時	月2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590023029	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2M11)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2M11・12		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	第1回 パーティーには何を着ますか。	
	2	第2回 この白いワンピースをどう思いますか	
	3	第3回 このゴミはどこに捨てますか	
	4	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト	
	5	第5回 ここで犬を放してはいけません	
	6	第6回 何歳になれば、何ができますか	
	7	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか	
	8	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません	
	9	第9回 ドイツの学校	
	10	第10回 復活祭には何をしますか	
	11	第11回 ドイツの祭りや祝日	
	12	第12回 カーニバル	
	13	第13回 ドイツと日本の年末年始	
	14	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか	
	15	第15回 ビデオでドイツを見る	
16	定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590023030	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2D16～17・2T20A～21A)		
編集担当教員	山下 哲雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山下 哲雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山下 哲雄		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]302		
対象学生(クラス等)	2M11・12		
担当教員Eメールアドレス	yamatetsu@mrd.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	2校時後の昼休み、3校時後の休み時間		
授業のねらい	ドイツの文化、習慣、環境問題などをドイツ人の会話を通して知る。		
授業方法(学習指導法)	会話の中に出る初級文法の復習をし、会話内容を理解し、滑らかに発話できるように発音練習をする。		
授業到達目標	学生がこの授業でドイツの生活・文化を理解し、ドイツに興味を持ち、ドイツへ留学したいと思えるようになること。		
授業内容	ドイツでの日常生活の各場面に基づく会話を、自分の生活環境に置き換え、身近な言葉にして言語の習得を実現する。		
	回	内容	
	1	第1回 パーティーには何を着ますか。	
	2	第2回 この白いワンピースをどう思いますか	
	3	第3回 このゴミはどこに捨てますか	
	4	第4回 ドイツの学校の環境プロジェクト	
	5	第5回 ここで犬を放してはいけません	
	6	第6回 何歳になれば、何ができますか	
	7	第7回 ドイツの義務教育は何年ですか	
	8	第8回 パン屋になるためには、大学へ行く必要はありません	
	9	第9回 ドイツの学校	
	10	第10回 復活祭には何をしますか	
	11	第11回 ドイツの祭りと祝日	
	12	第12回 カーニバル	
	13	第13回 ドイツと日本の年末年始	
	14	第14回 「アドヴェント」とはどういう意味ですか	
	15	第15回 ビデオでドイツを見る	
16	定期試験		
キーワード			

教科書・教材・参考書	『スツェーネン 2』場面で学ぶドイツ語 著者：佐藤修子 他、(株)三修社
成績評価の方法・基準等	小テスト(40%)、定期試験(50%)、授業中の発音・和訳・積極性(10%)
受講要件(履修条件)	
本科目の位置づけ	
学習・教育目標	
備考(URL)	
備考(準備学習等)	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



シラバス参照

タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590023027	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2M12・2K25～26)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	2M12.2K		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルアップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている(出来事)への関心を高めていてもらいたいと考えています。		
授業方法(学習指導法)	教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。毎回数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行っていただきます。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っていただきます(授業内容・成績評価項目参照)。		
授業到達目標	内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。		
授業内容	授業の進め方は前期と同じです。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。後期は前期よりも内容が複雑・重いものが多いですが、頑張りましょう。 【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の(正しさ)よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	第1回(10月4日)第6章【フォルクスヴァーゲンのボルシェ買収】前半。	
	2	第2回(10月11日)第6章後半	
	3	第3回(10月18日)第6章確認問題。文法練習問題(形容詞の比較級・最上級等)。	
	4	第4回(10月25日)第7章【ホルスト・ケーラー大統領の辞任】前半。	
	5	第5回(11月1日)第7章後半。	
	6	第6回(11月8日)第7章確認問題。文法練習問題(接続法等)。	
	7	第7回(11月15日)第8章【アフガニスタン派兵/ドイツ兵襲撃事件】前半。	
	8	第8回(11月22日)第8章後半。	
	9	第9回(11月29日)第8章確認問題。文法練習問題(動詞の人称変化等)。	
10	第10回(12月6日)第9章【児童虐待問題/政府「円卓会議」】前半。		

	11	第11回(12月13日)第9章後半。
	12	第12回(12月20日)第9章確認問題。文法練習問題(定動詞・前置詞の位置等)。
	13	第13回(1月10日)第10章【第5回Germany's Next Topmodel】前半。
	14	第14回(1月17日)第10章後半。
	15	第15回(1月24日)第10章確認問題。文法練習問題(数詞等)。
	16	第16回(1月31日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラーブ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590023028	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語Ⅳ(2T21B～23B)		
編集担当教員	清原 明代		
授業担当教員名(科目責任者)	清原 明代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	清原 明代		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]403		
対象学生(クラス等)	2T21B～23B		
担当教員Eメールアドレス	kiyohara_akiyo@yahoo.co.jp		
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL			
担当教員オフィスアワー	授業前後の休み時間。またはEメールにて。		
授業のねらい	ドイツの「時事問題」をトピックスとして編まれた教科書を読み進めることによって、ドイツ語初級から中級へのレベルアップを目指します。それと同時に、この授業を通して、世界で実際に起こっている(出来事)への関心を高めていてもらいたいと考えています。		
授業方法(学習指導法)	教科書に沿ってテキストを読み進めてゆきます。毎回数名の学生を指名し、担当箇所の音読と訳出を行っていただきます。ただし指名されなかった場合も、毎回予習復習を行っていただきます(授業内容・成績評価項目参照)。		
授業到達目標	内容のある文を読む際、背景となる知識・文法的な知識の両方を必要に応じて探せるようになること。辞書を用いれば、ある程度難解なテキストでも理解できるようになること。		
授業内容	授業の進め方は前期と同じです。各章とも、本文の読解・解説を2回の授業で行い、3回目には各自がテキストの内容を理解しているかどうかの確認問題、および付属の文法復習問題に取り組みます。これらの問題の出来が成績評価に関係しますので、読解担当者以外も予習復習を行うようにしてください。後期は前期よりも内容が複雑・重いものが多いですが、頑張りましょう。 【本文読解・担当者について】まずは担当希望の立候補を募ります。自ら担当を希望した学生については、積極性を評価して成績に加味します。立候補者がいなければこちらで担当者を指名します。立候補・指名の場合を問わず、音読や訳出の(正しさ)よりも、まずは課題への取り組みの熱心さを評価します。間違っているところや分からないところがあっても構いません。それらの点についてはオフィスアワー、および当該授業中にサポートしますので、積極的に授業に参加してください。		
	回	内容	
	1	第1回(10月4日)第6章【フォルクスヴァーゲンのボルシェ買収】前半。	
	2	第2回(10月11日)第6章後半	
	3	第3回(10月18日)第6章確認問題。文法練習問題(形容詞の比較級・最上級等)。	
	4	第4回(10月25日)第7章【ホルスト・ケーラー大統領の辞任】前半。	
	5	第5回(11月1日)第7章後半。	
	6	第6回(11月8日)第7章確認問題。文法練習問題(接続法等)。	
	7	第7回(11月15日)第8章【アフガニスタン派兵/ドイツ兵襲撃事件】前半。	
	8	第8回(11月22日)第8章後半。	
	9	第9回(11月29日)第8章確認問題。文法練習問題(動詞の人称変化等)。	
10	第10回(12月6日)第9章【児童虐待問題/政府「円卓会議」】前半。		

	11	第11回(12月13日)第9章後半。
	12	第12回(12月20日)第9章確認問題。文法練習問題(定動詞・前置詞の位置等)。
	13	第13回(1月10日)第10章【第5回Germany's Next Topmodel】前半。
	14	第14回(1月17日)第10章後半。
	15	第15回(1月24日)第10章確認問題。文法練習問題(数詞等)。
	16	第16回(1月31日)定期試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		アンドレア・ラーブ、石井寿子「Neuigkeiten aus Deutschland 2009/10」(朝日出版社)。
成績評価の方法・基準等		基本は定期試験60%、毎回の授業態度・各章の確認問題の出来40%の配分で評価します。授業に積極的に参加した学生、音読、訳出、文法理解等において優れていると認められる学生については、その点も評価に加えます。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「**2011年度シラバス**」、開講所属「**全学教育-全学_ドイツ**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	木2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590023025	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語IV(2E5～10)		
編集担当教員	目 正勝		
授業担当教員名(科目責任者)	目 正勝		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	目 正勝		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]204		
対象学生(クラス等)	2E5～10		
担当教員Eメールアドレス	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
担当教員研究室	非常勤講師室		
担当教員TEL	096-322-0277		
担当教員オフィシアワー	mksakka@xqb.biglobe.ne.jp		
授業のねらい	ドイツ語文法の基礎をさらに確実なものにしなが、応用段階へと進む。 多くのドイツ語文を読んで、読解力や語彙を身につける。また、正しい発音で文章を朗読することができるようになること。 ドイツの歴史や文化への理解を深める。		
授業方法(学習指導法)	様々な散文、物語文のドイツ語を読む。 テキストは中級ドイツ語への橋渡しのための、文法の再確認とドイツ語文章の読解、そしてドイツ語表現の練習を内容としている。プリントによって数編の読み物を適宜補足する。 教室では毎回4～5人の人に和訳をしてもらい、前もって割り当てておくので、当たった人はよく調べてこななければならない。 できるだけ多くの人に文法や独作文の練習問題の答えを発表してもらう。		
授業到達目標	報告文、物語文など、現代ドイツ語の文章で特に難解なものでなければ、辞書を引きながらでも読むことができるまでに力をつけること。また、簡単な作文がドイツ語で書けること。		
授業内容	後期は8課から始めて、12課、そして終章まで読む。前期同様、大体2回の授業で1課を終えるペースで進む。それぞれの課の本文を、前もって当てておいた3～4人の人に訳してもらい、そして本文の後にある文法練習、表現練習、また本文の内容についての読解問題については、できるだけ多くの人に答えを発表する機会があるようにする。テキストはとくに独作文、ドイツ語表現に重点を置いている。 折に触れてレポートを課す。また関連する読み物を読む。		
	回	内容	
	1	第1回 第八課、「保守と革新」を読む、文の構造、接続法と直説法。	
	2	第2回 第八課の続き、形容詞の名詞化、練習問題。	
	3	第3回 第九課、「客はどこに座らせる？」を読む、機能動詞	
	4	第4回 第九課の続き、機能動詞、練習問題。	
	5	第5回 第十課、「遅れてきたとき、どのように着席するのか？」を読む、動詞(現在分詞)の名詞化。	
	6	第6回 第十課の続き、指示代名詞、練習問題。	
	7	第7回 第十一課、「使いやすい表現と使いにくい表現」を読む、定関係代名詞、語法の助動詞。	
	8	第8回 第十一課の続き、従属接続詞obwohl、練習問題。	
	9	第9回 第十二課、「働いてばかりいられない」を読む、過去分詞の副詞的用法。	

	10	第10回 第十二課の続き、過去分詞の副詞的用法、練習問題。
	11	第11回 終章、「あなたのことは、僕が一生、全力でお守りします」を読む。
	12	第12回 終章の続き。補足練習問題(プリント)
	13	第13回 終章の続き。補足練習問題(プリント)
	14	第14回 プリントによる補足読み物
	15	第15回 プリントによる補足読み物。
	16	第16回 後期末試験
キーワード		
教科書・教材・参考書		「新 ドイツ語読みかた教室 —中級表現練習読本—」 大谷弘道、大谷ウルズラ 著、三修社
成績評価の方法・基準等		定期試験(約90%)、および平素の学習成績、授業への参加状況(約10%)を考慮して評価する。
受講要件(履修条件)		
本科目の位置づけ		
学習・教育目標		
備考(URL)		
備考(準備学習等)		やむを得ない事情がある場合を除いて、毎回出席しなければならない。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.



タイトル「2011年度シラバス」、開講所属「全学教育-全学_ドイツ」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	金2
開講期間			
必修選択	必	単位数	1.0
時間割コード	20110590023026	科目番号	05900230
授業科目名	●ドイツ語Ⅳ(2L1～2・2P18～19・2F27～28)		
編集担当教員	古賀 正之		
授業担当教員名(科目責任者)	古賀 正之		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	古賀 正之		
科目分類	B科目 外国語 初習、外国語科目		
対象年次	2年,3年,4年	講義形態	演習科目
教室	[全]203		
対象学生(クラス等)	2L1・2、2P、2F		
担当教員Eメールアドレス			
担当教員研究室	非常勤講師控室		
担当教員TEL	095-819-2078(非常勤講師控室)		
担当教員オフィスアワー	金曜日休み時間(教室内のみ)		
授業のねらい	現代のドイツは拡大するEU(ヨーロッパ連合)の政治、経済、文化の中心として重要な役割を果たしています。ヨーロッパで最も多くの人々が日常的に用いているドイツ語を学習することを通して、ドイツ語圏とヨーロッパへの関心、知識および理解を深めていきます。		
授業方法(学習指導法)	学習者同士による口頭表現練習と発表、さらに練習問題の反復によって基本単語とキーセンテンスを身につけること。また、聴き取り問題によってドイツ語の発音に慣れることです。		
授業到達目標	ドイツ語Ⅲまでに学んだ初級文法の知識を定着させるとともに、実際にそれを活用し、日常生活の各場面に応じた会話を行ったり、知っている範囲の限られた単語や表現でも、それを手掛りに短い文章の意味を把握できるようになること。さらにドイツ語圏の社会と文化をより幅広く説明できるようになることです。		
授業内容	ドイツ語Ⅲまでの既習者を対象に、各回ごとのスケッチ(キーセンテンスを中心に作られたモノログやダイアログ)及び表現の基礎となる文法事項に即して自分の意思・意見を相手に伝え、同時に相手から情報を得る練習を行います。また、適宜聴き取り練習を行います。 この授業で使用する教科書は10課から成っており、ドイツ語Ⅳでは後半10課までを終了する予定です。各課とも1課あたり6ページで、その構成は次のとおりです。 テーマ(場面・言語行為) ドイツ事情(読解テキスト) 復習文法・学習文法 2課終了ごとに、クイズ、ゲーム、ことわざ等、楽しみながら言語を使う課題があります。第1回目の授業は10月7日に始まり、第15回目の授業(2月3日)まで1課あたりおよそ3回の授業を充当します。第16回(2月10日または2月17日)は定期試験を実施します。 (成績評価の方法・基準等の補足) ○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。具体的には、1. 各自当学期15回までの授業で学んだ会話表現や文法事項を覚え、それらを含むテキストを聴き取り、正しく書けるかどうか、また、同時にその内容を把握し、簡潔に記述できるかどうか、2. 各回の授業の中で取り扱う場面にふさわしい会話表現を覚え、表現の基礎となる文法を理解し、それをういて意思の疎通ができるかどうか、という観点から成績を評価します。		
キーワード	パートナー練習 聴き取り練習 状況に応じた表現練習		
教科書・教材・参考書	[教科書]CD付き スツエーネン2 コンパクト 佐藤・下田 三修社		
成績評価の方法・基準等	○1. 定期試験の成績(50%)、2. 毎時間の口頭発表の結果(50%)で評価します。 (具体的には授業内容欄に記載)		
受講要件(履修条件)	必要出席回数を上回ること。		
本科目の位置づけ			

学習・教育目標	母国語、英語以外の言語を習得すること。 ／それによって新たな知的視野を広げること。
備考(URL)	
備考(準備学習等)	次回の授業で用いる会話表現の意味を調べ、覚えておくことが望ましい。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.